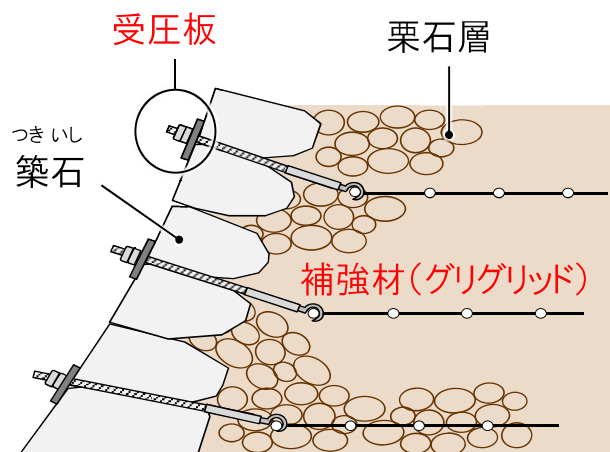




優秀賞



石垣補強イメージ



施工状況

公園分野

熊本城飯田丸五階櫓石垣復旧事業における耐震補強の確実性を高める取組み

取組概要

2016年の熊本地震により熊本城内の多くの石垣が崩壊、変形し、被災した。飯田丸五階櫓石垣においては、石垣が大きく崩壊するとともに上部の櫓も被害を受けた。熊本城は、国指定の特別史跡であり、史跡を構成する石垣の文化財的価値は非常に高い。また、熊本城は、年間来城者100万人を超える観光資源である。そのため、グリグリッド工法を採用し、景観の変化と文化財的価値の損失を最小限にとどめ、効果的な耐震補強を実施した。

受賞理由

文化財の改変範囲を必要最低限とし、文化財保全も考慮された補強方法の確立は、他事業への転用も期待されることが評価された。

取組のポイント

文化財である石垣の景観の変化を最小限にとどめつつ石垣の耐震補強を実施した。栗石（粗粒材）に対し、一般的なジオグリッドよりも短い敷設長で補強効果を発揮できるグリグリッドを用いることで、補強に必要な解体範囲を縮小し、文化財的価値の損失範囲を最小限にとどめることができた。グリグリッドの採用に当たっては、飯田丸五階櫓石垣の1/8スケールの模型石垣を用いた振動台実験を実施することで、石垣耐震補強としての確実性を検証した上で設計に反映した。

受賞者について

受賞者

熊本市文化市民局熊本城総合事務所
鳥居 久義／藤本 匡哉／佐伯 孝央
株式会社大林組
川本 卓人／森田 晃司／粕谷 悠紀／岡渕 直樹

コメント

この度は、インフラメンテナンス大賞優秀賞という名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。これまでご支援・ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

本取組は、2016年の熊本地震で被災した熊本城飯田丸五階櫓石垣の復旧において、文化財としての価値や景観を守りつつ、グリグリッド工法を用いた耐震補強を実現したものです。今後も伝統技術と新技術の融合を図り、文化財の保全と地域社会への貢献に努めてまいります。

団体概要

熊本市文化市民局熊本城総合事務所は、熊本城復旧事業の推進・管理を担い、文化財保護と観光振興の両面から熊本城を支える組織です。

大林組は、仙台城、弘前城、熊本城、刈谷城など全国の石垣の解体・修理、復元に取り組んでいます。

問い合わせ先

熊本市文化市民局熊本城総合事務所
TEL：096-328-2858
株式会社大林組
担当：川本
TEL：03-5769-1111